

ぼっちののらだよい

紫陽花の咲く季節になりました。
千葉県農民連の駐車場でもきれいに咲いています。
事務所の隣の畑では、八街名産の落花生がすくすくと育っています。

千葉県内でも一時は畑作物の中で重要な位置を占めていた落花生も昭和 40 年頃の高度経済成長期を境に野菜類への作付転換、農地の改廃等で作付面積が大幅に減少してしまい、国内での落花生作付面積もピークだった頃の 1 割強となってしまいました。

現在、国内で販売されている落花生の 9 割は外国産になってしまっています。

そんな中、畑でゆっくりと自然乾燥された八街産の落花生は、全国 1 位の収穫量を誇り、品質や品種の改良・加工方法の改善などで、味でも日本一と根強いファンに支えられています。

